

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズリオン プラン		公表日		2026 年 2 月 27 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・距離を保って座れるよう配慮している ・静の活動では机を出す、動の活動では机を端に避けるなどしている ・子ども同士の距離や安全面に配慮している	・学年が上がるにつれて荷物の量が増えたり、身体も大きくなるため、ロッカースペースが狭くなってきている ・利用者の年齢や特性により、活動内容によっては手狭に感じる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員配置は規定通りに配置している	・送迎に出た際に残れる職員配置数が足りていない ・送迎が多いのでその間に手薄になることがある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・室内はフラットな環境になっている	・駐車場から施設まで人通りの多い道を通ること、施設が2階にあるためエレベーターの使用が必須になっている ・非常時に階段を使わなくてはならず安全面が課題	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・日常的に清掃を行っている ・利用者におやつ前に自分の机を消毒してもらっている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室があり、着替えや体調不良時、気持ちが悪くなるときに利用している	・静養室兼着替え室兼談室と用途が重なっている点	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・ミーティングを1日2回実施し、確認と振り返りしている	・共有ノートを作成し、ミーティングができない日でも共有できるようにする	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価していただいた内容を全職員で把握し改善策を出して実施している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・管理者が職員に対して個別に話を聞く時間を設け、業務改善につなげていけるようにしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者評価という形では実施していない ・評価してもらい、結果を改善策として活用していく必要がある	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修を実施している ・法人全体でも研修の機会を設けて実施している	・全職員が同じ研修を受けることが難しい ・職員に年間を通していつ、どのような研修があるのかを周知してほしい ・研修内容を現場で活かせるよう職員全体が共有する必要がある	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HUGにて支援プログラムを公表している	・支援プログラムや活動内容を、HUGの活動記録にUPする時間が業務時間内では作れない	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者の意向や方向性を確認し、職員全員で話し合って個別支援計画に反映している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・モニタリングは全職員で行い、次回目標なども共通理解のもとで作成している ・管理者を中心に職員から意見や情報を収集している	・現場の様子をより詳しく共有していく必要がある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援記録に個別支援計画を挟み、計画を見ながら支援や記録が書けるようにしている ・週1回の会議でも個別支援計画を確認しながら支援内容を再確認している ・支援の様子や気づきを職員間で伝えあっている	・情報共有した内容を統一した支援につなげていく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	・支援記録やアセスメントは実施している ・日々の記録を通し成長変化を確認している	・法人としてアセスメント用紙がない	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿って計画や支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・役割分担をし、当番制で活動を決めている ・職員同士で話し合って決めている	・利用者一人一人に合った活動になるよう話し合い工夫していく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・1か月の活動内容を5領域と照らし合わせて決定している ・先週と同じ個別支援計画5領域にしない、前月と違う曜日に制作をいれる、など工夫している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・職員でミーティングを行い、その日の活動内容や休みの確認、連絡事項などを確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後、その日の活動の振り返りを本人がしている。また他職員も活動について良かった点・改善点を上げて次回に活かせるようにしている。またその日の利用児の様子なども共有している	・他業務もあるため、長い時間を取ることは難しい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援をしながら利用者の様子・トイレの様子などを記録用紙（バインダーに挟んである）に記入し、それを元に支援記録の記入や振り返りにつなげている ・当日の様子や配慮事項を具体的に記録している	・記録の内容が職員によってばらつきがある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・個別支援計画見直しの際にモニタリングを行っている・その他に毎週金曜日に会議として一週間の利用者の様子や注意点を共有している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・4つを組み合わせるように支援プログラムを考えて行っている ・活動が重ならないように意識している	・地域交流の機会を作ることが難しい ・地域交流の機会が限られている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・おもちゃなど視覚で選べるようにしている	・利用者によって掲示の仕方を変える必要があるが、追いついていない ・スケジュールや時間により選択肢が限定されることがある
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・職員間で利用者の様子を共有し、その内容を管理者兼児童発達支援管理責任者が会議で伝えている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・送迎時に学校との日々の様子を共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・情報共有会議があれば参加している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・情報提供を求められた際には提供をしたり、会議に参加して情報を伝えている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・支援センターの誰に連絡をすればいいか、などわからないことが多い
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・法人内での交流活動は行っている	・交流する機会を作ることが難しい ・地域への事業所理解を広げる取り組みが必要
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や電話連絡、連絡帳アプリ（HUG）で状況を伝えあっている ・良い点と課題点をバランスよく報告している	・発達状況の変化を整理して伝える工夫が必要
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・働いているご家族が多く、研修参加は難しいことが多いと感じる ・定期的なペアレントトレーニングの実施の検討
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・変更時に丁寧に伝えるよう心掛けている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・迅速に事実確認をし対応をしている	・事業所に完全個室の面談室がない
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			・希望がある場合は父母の会の開催も支援できればよい ・テーマ設定などを明確にし参加意欲を高める

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・職員間で情報を共有し、上司へ相談しながら迅速に保護者対応をするよう心がけている	・第三者委員などの活用体制を再確認
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・避難訓練のお便りや、Instagramで日々の活動をUPしている	・更新頻度の安定を図ること ・個人情報の再点検
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・使い終わった個人情報資料などはすぐシュレッダーをし処分している ・施錠管理している	・職員へのルール周知、持ち出しルールの徹底
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・重要事項は書面に行っている ・丁寧に説明している	・専門用語を避けてわかりやすく伝える ・説明後の理解確認をする
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・地域への周知活動の強化 ・体験機会の拡充
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・定期的に行っている	・マニュアルがないものもある ・実際の場面を想定した訓練の充実
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に避難訓練を実施し、実際に階段から降りて避難場所まで歩いて避難をしている	・災害種別ごとの対応の確認
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・服薬やてんかん発作については保護者からの情報を職員で確認している	・予防接種の有無の確認をする機会がない ・契約時に母子手帳をもって来てほしいと伝えることが可能か法人として検討が必要（年齢が高いほど）
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・医師の診断書はなく、保護者からの聞き取りで行っている ・ダブルチェックの評価
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・年間計画を作成して取り組んでいる	・ヒヤリハット事例の活用
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・日々の連絡帳で取り組んだ際に内容を周知したり、お便りとして配布している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			・再発防止策の実施状況確認
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			・外部研修の活用 ・定期的なセルフチェック
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		・契約の際に説明をするようにしているが、新規契約が無い ・代替え支援方法の検討強化	